



Washington Japanese Language School
ワシントン日本語学校

2023年6月17日発行 第11号

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411

創立 65 周年記念

若田光一宇宙飛行士講演会

校長 三原 洋一

先週は、本校創立 65 周年を記念した講演会を開催しました。管理運営委員の皆様のご尽力のもと、JAXA の協力を得て、2022 年スペース X による有人宇宙船クルードラゴン 5 号機に搭乗し、国際宇宙ステーションに 6 カ月の長期滞在を果たし、これまでに合計 5 回の宇宙飛行を行った若田光一宇宙飛行士を講師に迎えることができました。

小学部 4 年生以上と中学部・高等部を対象に、1 時間という短い時間での講演でしたが、貴重な映像やお話をもとに大変興味深い講演となりました。講演の中では、国際宇宙ステーションで行った様々な実験の様子や、水が少ししか使えない中での歯磨きや洗髪の様子など無重力空間での生活等を紹介していただきました。さらに子どもたちからの質問にもひとつひとつ丁寧に答えていただきました。

宇宙飛行士という特別な職業の方からの話は、本校児童生徒にとって貴重なキャリア教育の一つとなりました。

キャリア教育の必要性や意義の理解は、学校教育の中で高まってきており、日本国内でも各校で実践が進んでいるところです。

文部科学省では、キャリア教育を次のように定義しています。



『一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育（中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成 23 年 1 月 31 日）』

キャリア教育は、子ども・若者がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的働きかけである。

そして、キャリアの形成にとって重要なのは、自らの力で生き方を選択していくことが



できるよう必要な能力や態度を身に付けることにある。

したがって、キャリア教育は、子ども・若者一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な能力や態度を育てることを目指すものである。自分が自分として生きるために、「学び続けたい」「働き続けたい」と強く願い、それを実現させていく姿がキャリア教育の目指す子ども・若者の姿なのである。



今、子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。

今回の講演で、宇宙飛行士という職業に興味関心をもつだけでなく、自分の個性を生かした自分らしい生き方を考える良い機会となったのではないのでしょうか。真剣に話を聞く子どもたちの姿に、少なくとも、これからの学びを進める上で大きな刺激となったことは間違いありません。

若田宇宙飛行士のインタビューの最後に、「将来この中から、わたしたちと一緒に宇宙を切り開いてくれる仲間が出てきてくれることを確信できる時間でした。」というコメントがありました。今回の 65 周年記念講演は、まさに本校のキャリア教育をはじめとする様々な教育活動を実践するにあたって、大いに意義のある特別授業となったと確信しています。

会の最後には、本校の保護者でもある宇宙飛行士候補の諏訪理さんも加わって、若田宇宙飛行士とともに、全員で記念撮影を行い、みんなで創立 65 周年を祝いました。

お二人の今後のさらなる活躍とご健勝を心からお祈りいたします。

また、今日までの計画や準備、関係機関と



の折衝、当日の運営まで主体的に取り組んでいただいた、辻川委員長はじめ管理運営委員の皆様および関係の皆様にご心から感謝申し上げます。

以下に、児童・生徒の感想を紹介します。



○オーロラなど、色んな映像が見れて、良かったです。宇宙では、ずっと頭に血がのぼった状態だと聞いたので、宇宙飛行士になるのは大変だなと感じました。

○豊富な宇宙食や、宇宙ステーションでなされる数多くの研究など、私が今まで本や教科書などでしか読んだことのない内容をよりリアルに、正確に、しかも宇宙飛行士の方から聞いたので、一層私たちの住む時代が近代化されたように感じました。

○宇宙でピザを食べているのが印象的でした。常に命の危険と隣り合わせな環境で、専門的な研究をするだけでなく楽しそうなことをしているのが宇宙飛行士への憧れの姿を形作るのだらうなと思いました。宇宙船から見た景色の映像がかっこよかったです。船外活動でトラブルが起こったけれどチームワークで乗り切ったというエピソードは技術の進歩だけでなく人助けの大切さが伝わりました。

○日本人の宇宙飛行士がいない時代に宇宙飛行士を目指し、何年もの努力でその夢を叶えたというストーリーが心に響きました。

○最初は宇宙飛行士はとても難しい仕事だと思っていたけど今回のお話を通して、宇宙飛行士はとても楽しくていろんな実験ができたり、いろんな楽しいことができるんだな～と思いました。若田さんが言っていた「目標に向かって頑張ればなんでもできる」ということが心に残りました。1番面白かったのは宇宙ステーションでやっていた野球です。

○若田さんの話から多くのことを学びましたし、すごく良い経験になって楽しかったです。宇宙への未来や希望が一層明るく見えたようで、ワクワクしました。ありがとうございました。

○もっともっと面白い話を聞きたいです。本当に宇宙に行った若田さんだ!と思うと宇宙人と地球人の半分みたいな感じです。またぜひ来てください。

○宇宙飛行士の人は、まじめできびしいイメージがありましたが、若田飛行士からは元気があって、楽しそうに研究している様子が伝わって来ました。特に面白かったところは、若田さんが空中でゆっくり飛び回っている映ぞうを、早送りしてまるでスパイダーマンが飛んでいるように見えたところです。宇宙はとてもきけんであるけど、沢山訓練をつんでがんばって来たからこそポジティブに宇宙空間で過ごせるのだと思いました。きんちょうし過ぎたり、心配し過ぎるとせつかくがんばった事がだいなしになってしまうと思います。若田さんはとてもたよれて、仲間をいつも元気づけられる人だと思いました。若田さんのこうえんを聞けて良かったです。

○教室に帰った後、私の目標が「あきらめない気持ち」に決まりました。私は例えば友達とケンカをしたとき、もう友達にはならない、と決心してしまいましたが、若田さんの話を聞いて、あきらめるということは努力していないということだとわかりました。これからは、つらいことがあっても前に進んで壁をのりこえようと思います。

